

## 看護師職能集会後のアンケートデータ使用についてのお願い

岡山県看護協会看護師職能委員会の目的は、会員の皆様からの意見を集約し、看護師職能の抱えている課題を発見することにあります。そこで、集会終了後にアンケート記入をお願いしてきました。このたび、皆様から寄せられた5年間のご意見を整理し、今後の課題を明らかにするために、以下の方法で分析し、学会発表と論文投稿を考えています。

分析対象：平成22年10月から平成26年10月までに実施した職能集会への参加者のアンケートから、「現在の課題」と「看護協会に望むこと」の2つの項目に記述されている内容。

分析方法：看護師職能委員会I領域の委員7名によるKJ法による課題の発見。

しかし、アンケート実施の際には学会発表などの公表の了解を得る文言が入っておりませんでした。そこで、今回の分析においては以下のことをお約束し、データの活用をお許しいただければと思います。

1. データはすべて無記名アンケートであり、個人や所属が特定されることはなく、集会の日時も特定されないよう、匿名性を厳守します。
2. 記述された生データそのものではなく、その意味を抽出した表現で分析し、個人が特定されることはありません。
3. 参加された集会でのご自分のアンケートの使用は困るという申し出（下記アドレスへ）については、申し出のあったアンケート用紙についてのデータを分析対象からはずすなどの対応をさせていただきます。2015年3月末までに申し出ていただくようお願いいたします。データの活用を拒否された場合にも、そのことで不利益を被ることはありません。
4. 生データは個々の調査用紙ではなく、集約した形のデータにして厳重に管理し、今後5年間保存した後、破棄します。

問い合わせ：

岡山県看護協会 看護師職能委員長 古城幸子

kojo@niimi-c.ac.jp